

教科・科目	単元（テーマ）	学年・クラス （人数）	授業者
地理歴史 ・地理総合	さまざまな交通網の発達（持続可能な徳島県の発展のために四国新幹線は必要だろうか）	11HR(33名)	松岡 洋介

【使用教材】

高等学校新地理総合（帝国書院）・図説地理資料世界の諸地域 NOW2023・ワークシート・ホワイトボード

【目的】

全国で新幹線の整備が進む中で、四国内の鉄道の状況は、他の地方と比べ高速化などの点で大きな格差が進んでおり、少子高齢化、人口減少が他地域よりも早く進行している四国の自立的発展に向けての競争条件が、ますます不利な状況となっている。徳島県においてもより深刻な状況である。そこで徳島の未来を考える上で、他地域と比較しながら、四国新幹線がもたらす効果とより方向性を考えさせる。

【目標】

都市部と地域を結ぶ新幹線の発達と変化について理解し、多面的・多角的に考察、表現し、さらに、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする。

【この授業で特に意識する「科学的思考力」】

項目	内容
A 他者と協働する力	i 目的を意識したグループワークや話し合いができる
B 課題理解・発見力	i 設定された課題の条件を的確に把握できる
D: 情報分析力	i 目的に応じた適切な方法・道具を利用し、情報を入手できる
E: 構成・表現力	i これまでの経験や学習によって得た知識や情報を統合して推測したり、課題について自分の意見や考察を論理的に組み立てたりできる。

【全体の指導計画（全3時間）】

- 1 なぜいま四国新幹線なのかを考える
- 2 四国新幹線のメリット・デメリットを考える
- 3 持続可能な徳島県の発展のために四国新幹線は必要だろうかを考える（本時）

【本時の授業展開】

時間	内容
5分	前時までの振り返りをする。
20分	自分の考えを班で共有し、全体で発表する。
10分	それぞれの立場において、考えを揺さぶる資料を提供し、再度、班で話し合いを行う。
7分	これまでの授業を踏まえ、最終ジャッジを行い、変化が見られた生徒の意見を発表する
8分	まとめと振り返りをする。

【工夫・意識すること等】

- 各班で役割を分担させる
- ホワイトボード等を用いて各グループの意見発表をさせる
- 最終判断をするための吟味させる活動を重視する